

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	施設管理・周辺対策一般事業			540109	担当課	生活環境課		
	開始年度	昭和50(1975)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	-			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク周辺地域の環境対策及び環境パーク施設管理等を適切に行うことで、環境パーク利用者へのサービスの充実と周辺地域住民の生活環境の保全を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.14			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)北陸環境科学、(株)アクアテック							
	事業概要	環境パーク周辺地域の大气環境測定業務及び、環境パーク場内の雨水排水管浚渫を業者委託により行う。また、施設の維持に要する消耗品、車両の維持管理、適切なごみ処理に必要な資材など必要な経費を賄う。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		不法投棄防止看板、車両修繕、燃料代			795		
役務費		自動車保険等			130				
委託料		環境パーク周辺環境測定、場内雨水排水管浚渫ほか			7,455				
公課費		自動車重量税			59				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		6,950	9,826	8,589			
		補正予算等・・・②		626	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		7,576	7,617	6,024			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	2,144	2,500			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	65	65			
		特定財源名称 (H29実績)	みらい一括交付金			2,117	府補助金	24	頁
		電柱占用料			66	使用料	10	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.2/0	0.18/0	0.18/0				
	概算人件費・・・④		1,600	1,440	1,440				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			9,176	11,266	10,029				
執行状況	執行額・・・⑥		7,576	8,439					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	85.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		環境基準達成率	%	100/100	100/100	/100	100		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		測定箇所数	箇所	10/10	10/10	/10	10		
		単位あたりコスト		757.6	843.9				
				/	/	/			
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境パーク施設管理、周辺対策のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。地元との公害防止協定の遵守のためにも必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であるが、最低限の経費で済むよう心がけている。 ・測定業務等は、直接実施よりも業者委託が最も効率がよく、コスト削減が図れる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果指標は、環境パーク周辺住民の安心安全が図れるものとしている。 ・測定機器の設置場所の提供など、地元協力を得ながら実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	測定結果は、環境基準を達成しており、ごみ焼却施設を原因とする大気汚染の影響を危惧されている周辺地域住民に不安を与えない結果が得られている。 環境パーク場内の施設管理についても、適切な維持管理が図れている。	
	今後の課題及び方向性	・環境パーク周辺自治会と環境保全に関する信頼関係の維持・継続に必要な事業であり、今後も継続的に実施をする。 ・環境パーク施設管理についても同様に必要であり、継続的に実施をする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	第1期・第2期処分場埋立整備事業			540123	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成43(2031)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第1期・第2期エリアの埋立量の拡大を図り、環境パーク全体の延命化を図ることで、市民生活に欠かすことのできない廃棄物の適正な処理を実施し、安全かつ衛生的な市民サービスの向上に努める。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.85			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)高尾組							
	事業概要	平成27年度に測量設計業務、平成28年度は生活環境影響調査業務、平成29年度より嵩上げ整備工事を進めている。 埋立面積 4,500㎡、埋立量 21万㎡拡大する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		工事請負費		最終覆土A=7,560㎡、ガス抜き管設置N=11本			60,562		
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		20,000	78,300	119,023			
		補正予算等・・・②		△ 7,000	△ 15,000	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		8,667	0	0			
		国支出金		4,333	0	36,007			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	60,100	73,000			
		その他特財		0	3,200	10,016			
		特定財源名称 (H29実績)	第1期・第2期処分場埋立整備事業(旧合併特例債)			57,500	旧合併特例債	48	頁
			第1期・第2期処分場埋立整備事業基金繰入			3,062	基金繰入金	40	頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.50/0	0.46/0	0.46/0	/			
	概算人件費・・・④		4,000	3,680	3,680				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			17,000	66,980	122,703				
執行状況	執行額・・・⑥		10,686	60,562					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		82.2%	95.7%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		埋立増量	㎡	0 / 0	0 / 0	/ 8万	21万		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		単年当たり事業進捗率	%	1 / 1	5 / 5	/ 7	埋立完了		
		単位あたりコスト		10,686.0	12,112.4				
			/	/	/				
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上げを行うことでコスト削減を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標、活動目標については、各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立量の拡大を図っていくことを目標としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	埋立処分場整備事業が計画に基づき適正に進められていること。また、平成29年度予定工事が適正かつ安全に完成できたことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	現在埋立している第3期処分場の残余容量に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。 また、更なる延命化に向け、産業廃棄物の搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・整備自体は計画的かつ安価におさめる努力をしていると思うが、そもそも搬入される廃棄物の総量を減量、コントロールしていくことが急務 → 産廃の取り扱いも含めて、早急に方針の決定と市民向け取組の展開を ・処分量の増に伴って、初期整備(地・面・物)に影響が生じないかどうか、不断のチェックを</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p>		
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	リサイクル啓発事業			540131	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	家具・自転車などの修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源の再利用)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> エコ美遊、シルバー人材センター							
	事業概要	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生自転車の販売 ③修理再生家具類の販売 ④衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、実際にガラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		家具類、自転車修理材料費一式、ガス代			19		
役務費		修理再生品PL法保険料			5				
委託料		リユース・体験教室委託、家具・自転車修理再生委託			2,906				
備品購入費		アイロン他			18				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		3,282	2,959	2,863			
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		1,397	1,236	1,178			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		1,396	1,236	1,198			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		489	487	487			
		特定財源名称(H29実績)	みらい戦略一括交付金			1,453	府補助金	24	頁
			体験教室参加者材料費			213	雑入	44	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.17/0.10	0.20/0.50	0.20/0.50			
		概算人件費・・・④		1,610	2,850	2,850			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,892	5,809	5,713				
執行状況	執行額・・・⑥		3,229	2,948					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.4%	99.6%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		リサイクル率	%	18.3/19.5	17.5 / 20.0	/22.6	25.0(H32)		
		一人当たりごみ排出量	kg	152/155	147 / 151	/147	138(H32)		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		自転車・家具等の販売数	点	258/320	521/320	/320	320		
			単位あたりコスト	12.5	5.7				
		体験教室参加者数	人	633/660	595/660	/660	660		
			単位あたりコスト	5.1	5.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・体験教室や自転車販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・修理再生家具・自転車の販売及びリサイクル体験教室は、毎年多くの申込みや参加者があり、リサイクル啓発に一定の役割は果たしていると考えますが、本事業が、成果指標であるごみの排出量やリサイクル率に対して、どれだけ効果があったのか、判断するのが難しい。	
	今後の課題及び方向性	・市民のリサイクル意識の向上を促すことが目的であるということ意識しながら、事業を進める必要がある。 ・リサイクル品の販売数や体験教室参加者数が目的ではなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民のリサイクル意識を更に高める事業内容となるよう、研究する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・意識啓発から、具体的行動(リサイクル率の向上やゴミの減量)につなげていくことが必要不可欠だが、現状の取組からはそこが十分に読み取れない — 単にやっているだけに見える → 事業のあり方そのものから見直すべき		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充				

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	ごみ焼却施設修繕事業			540138	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	ごみ焼却施設は市民が快適で衛生的な生活を送るために必要な施設であり、福知山市内から発生するの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守し適正かつ安全に焼却処理を行うことで、市民の快適な衛生生活を提供するため、ごみ焼却施設の維持修繕を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	1.04			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		焼却炉耐火物及び機器等修繕、部品等消耗品			55,312		
需用費		焼却炉耐火物修繕(繰越分)			21,600				
関連事業	リサイクルプラザ修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転維持管理事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		70,000	50,700	58,185			
		補正予算等・・・②		△ 36,748	4,893	0			
		繰越し等・・・③		△ 22,419	22,419	0			
	財源内訳	一般財源		0	10,612	15,885			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		6,300	53,500	42,300			
		その他特財		4,533	13,900	0			
		特定財源名称(H29実績)	市市内ごみ手数料			3,000	手数料	14	頁
		ごみ焼却施設修繕事業(一般廃棄物処理)			57,300	市債	48	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.44/0	0.44/0				
	概算人件費・・・④		2,560	3,520	3,520				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			13,393	81,532	61,705				
執行状況	執行額・・・⑥		9,661	76,912					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		89.2%	98.6%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下	
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		ごみ焼却量		t	18935 / 15567	18931/ 15298	/ 14281		
		単位あたりコスト			0.5	4.1			
			/	/	/				
単位あたりコスト			0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ焼却量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「ごみ焼却」が行なえた。ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
	今後の課題及び方向性	ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・調達コストの適正さを担保する仕組みづくりが必要。他地域の情報を得るなど工夫は可能。 ・トータルコストの把握が必要。 ・長寿命化、予防保全によるコスト削減効果が解る資料や計画が必要であり、徹底した情報公開のもとに行われるべき。(判定人意見) ・修繕費の比較ができない事業費の支出はおかしい。 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	水処理施設運転・維持管理事業			540142	担当課	生活環境課	
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	160・162	頁	
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を図ることを目的とする。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.58		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	不燃物埋立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理を行う浸出水処理施設の安定かつ確実な稼働の維持管理を行う。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		消耗品費、光熱水費、修繕料			16,065	
委託料		浸出水処理施設 汚泥管理業務等			22,113			
役務費		通信運搬費、浄化槽点検			272			
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業環境パーク運転・維持管理事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		33,076	39,120	39,267		
		補正予算等・・・②		294	1,122	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		33,370	23,643	21,699		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	16,599	17,568		
		特定財源名称(H29実績)	下水道処理手数料			6,000	手数料	14 頁
	市庁内ごみ手数料			15,160	手数料	14 頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.49/0	0.65/0	0.65/0	/		
	概算人件費・・・④		3,920	5,200	5,200			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			37,290	45,442	44,467			
執行状況	執行額・・・⑥		27,716	38,450				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		83.1%	95.5%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		放流量		t	88,800 / 136,145	88,572 / 136,145	/ 136,145	完全処理
		単位あたりコスト			0.3	0.4		
		/	/	/				
単位あたりコスト			0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。	
	今後の課題及び方向性	排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・処理施設・業務に係る委託について、水処理施設そのものの委託と一体化(包括化)できないか ・1期・2期の延命化を組み入れた、中・長期的かつ総合的な計画が必要 → 施設の更新、費用負担のあり方等、審議会で早急に検討すべき		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		